



北海道大学  
医学部医学科

# HOKKAIDO UNIVERSITY

北海道大学 医学部医学科 学科案内 | 2023

# SCHOOL OF MEDICINE





北海道大学 医学部長  
はたけやま しげつぐ  
畠山 鎮次

北海道大学医学部は、北海道帝国大学創設の翌年の1919年に北海道帝国大学医学部として創立され、2019年には創立百周年を迎えた日本のなかでも有数の歴史と伝統を誇る医学部です。これまでに1万5千人ほどの卒業生が巣立ち、医療や医学研究の分野で活躍する数多くの人材を輩出しております。北海道大学医学部医学科としましては、「広範な医学知識、高い倫理観、豊かな人間性、国際的視野を備え、医学の進歩と医療の実践・発展に寄与する医師・医学研究者を養成すること」を、教育目標として掲げております。この目的のもとで育つ人材は、まず幅広い基本的な医学知識そして専門知識を有すること、そして深い思考力と批判力、応用力、創造力、さらには国際的対応能力を身につけることが要求されます。すなわち、国内の医療貢献のみならず、グローバルな視野および献身的精神を有する人材として活躍することが求められております。

北海道大学では、医学教育のみならず、リベラルアーツも学習できる教育環境が、開設以来、大学として整備されております。現在は、教育の実践を維持するためにハード面・ソフト面でさまざまな工夫を凝らすことで対応を進めており、ウィズコロナおよびアフターコロナに長期的に対応できる教育システムの構築が重要と考えております。医学科では近年、学習プログラムを見直し、診療参加型臨床実習を強化

しております。診療参加型臨床実習において、実際の医療現場で必須となる診療チームの一員として診療業務の義務や責任を理解し、医師として必要な専門的な知識、診断力、医療的技能を学びます。また近年、アジアやヨーロッパ諸国から外国人留学生（特別聴講学生）が多く受け入れており、本学の学生に対して身近に留学生とともに学ぶ教育環境を提供し、語学や国際感覚を身につけられるよう、医学教育国際交流推進センターなどの環境整備に取り組んでおります。

北海道大学は、世界でも珍しい雪の降る200万都市である札幌市の中心に位置し、かつ日本でも貴重な自然に恵まれた広大で静寂なキャンパスを構えています。皆さんが、恵まれたこの環境で勉学に励み、将来の宝となる友人、先輩、後輩そして師と出会い、医学・医療の進歩に貢献する創造性豊かで高い倫理観を有した医師・医学研究者になることを心から願っております。北海道大学医学部医学科は、医の学びを通して自己の成長を成し遂げ、自己で設定した高邁な目標と理想をもった学生諸君を歓迎いたします。

HOKKAIDO UNIVERSITY  
SCHOOL OF MEDICINE

北海道大学  
医学部医学科 2023

## CONTENTS

001	医学部長からのメッセージ 畠山 鎮次
003-004	コースマップ
■ 005-006	医学教養コース
■ 007-008	基礎医学コース
■ 009-010	臨床医学コース
■ 011-012	臨床実習コース
013	海外実習
014	キャンパスガイド (施設案内)
015-016	医学科イベントカレンダー クラブ・サークル活動
017-018	卒業後の進路
019-020	大学院特別プログラム ■ MD-PhDコース ■ CLARCプログラム
021-022	インフォメーション

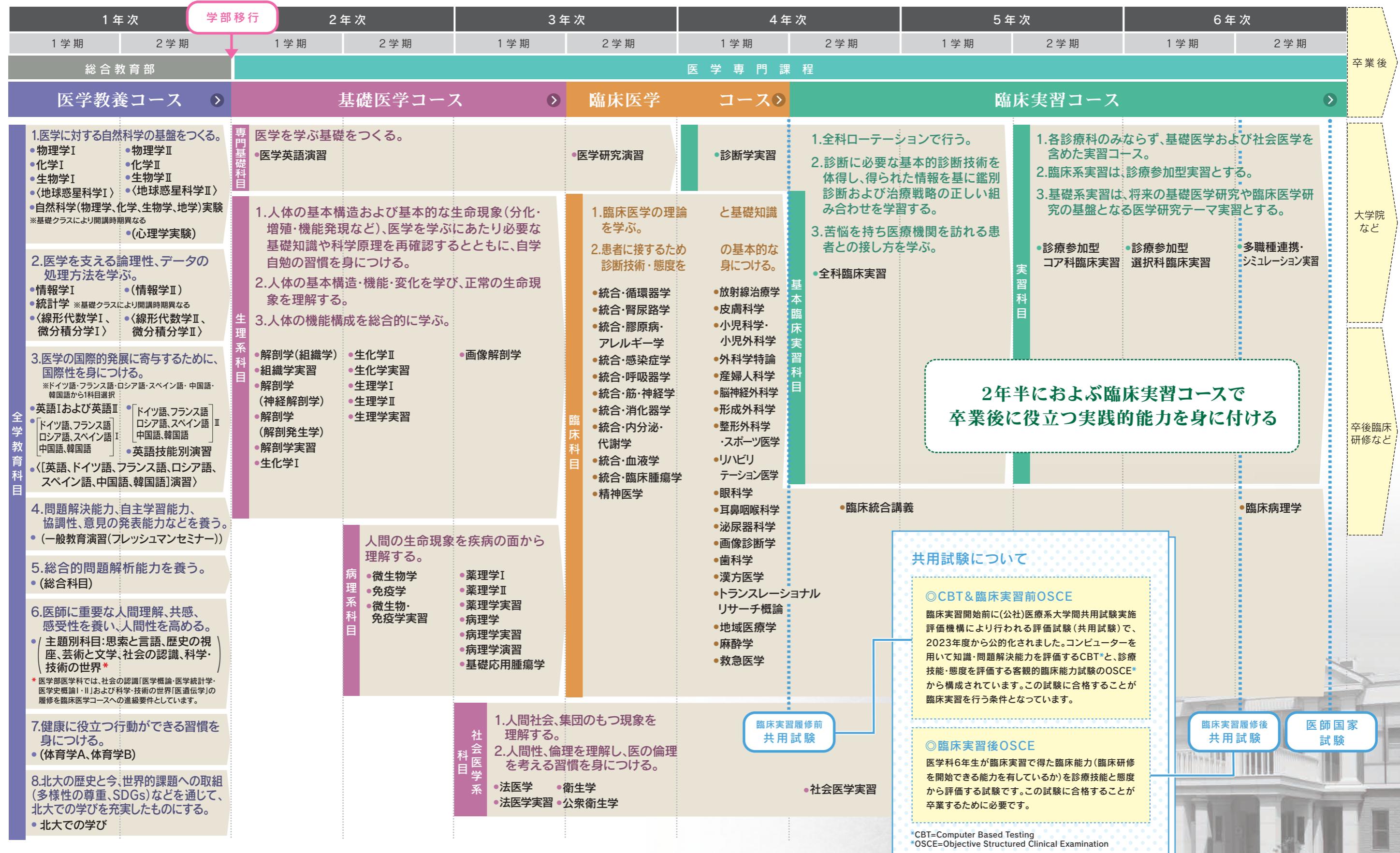


## コースマップ

(このカリキュラムは、2023年度入学者のものです)

◎コースごとに定められた全科目の単位を修得し、次のコースに進級します

医学科の6年間は、広汎かつ複雑な医学について全般的に学ぶオリエンテーションの期間。卒業後続いて行われる臨床研修や基礎医学を含む専門領域の研修・研究につながる、医学の基本的な知識と思考方法を身につけるためのカリキュラムが組まれています。



# 医学教養コース

全学教育科目

※総合教育部に配属となります

豊かな人間性を磨き、  
生涯医学徒であるための土台をつくります



## ▶ コースの特色

医学は自然科学の一分野ですが、医師には多様な価値観を持つ患者さんやその家族と向かい合う幅広い人間性と豊かな人間愛が求められます。これは「医学は文系である」ともいわれる所以でもあります。

入学してからの1年は、総合教育部に配属されます。他の理系学部の学生と一緒に多くの教養科目を共に学習することで、幅広い視野と豊かな人間関係を育むなど、人間性を磨き、生涯医学徒であるための土台をつくる大切な時期です。

一見、医学と無関係に思えるような文系の科目、医学以外の理系科目の履修が、後に医学研究や医療を行う場面での豊かな発想力、創造性、広い視点の原動力となります。



全学教育科目的授業は、医学部近くの高等教育推進機構で行われます。

## EVENT



## ◀ 新入生ガイダンス

4月に行われる「全体ガイダンス」では、授業科目の履修方法や大学生活に関する説明があります。「新入生医学部医学科ガイダンス」では、医学科の沿革、6年間のカリキュラムの説明等があります。



## 医学科生からのメッセージ

### のびのびと成長できる1年

医学教養コースでは総合大学であることを存分に生かし、他学部の1年生と共に分野を問わず様々な講義を受けることができます。

実際に私はこの1年間で感染症や口腔免疫といった医学に直接関係ありそうな分野のほか、聖書や海洋生物、憲法など多くの分野に触れることができました。また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大前には講義の一環で、ベトナムとシンガポールに2週間滞在し、国際機関・企業の方や現地の大学生とお話しするという大変貴重な機会も頂きました。事前準備や事後報告の準備も含め困難なことも多くありましたが、この経験は特にグループワーク等で仲間とコミュニケーションを取る際に大いに役立っていると感じています。

皆さんは入学後の1年間で多くの「きっかけ」をつかむことでしょう。実を結ぶものもあれば結ばないものもあるでしょうが、「きっかけ」に対して真摯に向き合って得られた経験は今後の学生生活で何かに挑戦する際の足掛かりになるほか、物事を多面的に考える糸口にもなると思います。北海道大学は様々な機会を皆さんに与えてくれます。ぜひ、この自由な環境で成長のきっかけをつかんでください。皆さんとキャンパスでお会いできることを楽しみにしております。

黒田 花音さん [5年生]  
北海道札幌南高等学校(北海道) 卒業

# 基礎医学コース

| 専門基礎科目 | 生理系科目 |  
| 病理系科目 | 社会医学系科目 |

人体の基本構造を学び、  
医学の基礎を培います



## ▶ コースの特色

病気は正常の変化したものと捉えられ、病気の理解は正常の理解に支えられます。

このコースは、2年次1学期から3年次1学期までの1年半に及びます。まず、人体の正常な構造と機能を学び(解剖学、組織学、画像解剖学、生理学)、生命現象を分子・遺伝子レベルから理解します(生化学、薬理学)。また、正常から病気に至る基本的プロセスを学びます(微生物学、免疫学、病理学、基礎応用腫瘍学)。

さらに、人間の健康や病気について、人間集団の相互作用、環境問題、社会制度、予防などの観点からアプローチする社会医学系の科目も学びます(衛生学、公衆衛生学、法医学)。

なお、基礎医学コースから始まる医学専門科目は全科目必修であり、時間割も濃密です。



病理学の実習風景

## EVENT



### ◀ 2年次学友会懇話会

4月初旬に基礎医学コース(2年次)  
進級ガイダンスがあります。  
医学部長の講話や医学専門課程  
に関するガイダンスのち、学友会  
懇話会が催されます。

## 医学科生からのメッセージ

### 医学・医療との関わり方を考える

宮本 裕也さん [4年生]  
清風南海高等学校(大阪府)卒業

2年次からは「基礎医学コース」が始まります。皆さんのが自分の将来を決めるためのきっかけを与えてくれる大切な期間になるでしょう。本コースでは、ミクロからマクロに及ぶ様々な視点で医学を学ぶことができます。前半は、医学部の醍醐味でもある解剖学から始まり、組織学や生化学、生理学などを通じて正常な人体について学びます。後半では、微生物学、免疫学、病理学で正常から病気に至るプロセスを学ぶとともに、薬理学を通して病気の治療に触れることで、臨床医学へつながる知識を深めていきます。これらの学問を最新の研究とともに学ぶことができるのも本コースの大きな特徴です。

また、医師になる上で、「医学」だけでなく、「医療」を学ぶことも重要です。衛生学や公衆衛生学、法医学では、社会と医療の多様な接点や課題を学ぶことができます。さらに、授業だけでは物足りない人は、各分野の研究室で研究に携わることもできます。実際、この期間から研究室に所属する人も多いです。学会発表など貴重な経験ができるチャンスもあります。

約1年半に及ぶ基礎医学コースは、「自分が将来どのように医学・医療に携わるか」をより具体的に考え始めることができる重要な期間です。臨床医として働くのか、基礎研究に携わるのか、行政や地域医療に従事するのか、選択肢は無限にあります。ぜひ、自分の興味を見つけ、積極的に学ぶきっかけを掴んでもらいたいです。



# 臨床医学コース

| 専門基礎科目 | 臨床科目 | 基本臨床実習科目 |

医療現場への第一歩、  
臨床医学の基本を学びます



## コースの特色

ここでは、さまざまな疾患について勉強します。  
疾患を多面的に把握し、内科学、外科学、専門医学などの臨床医学の基本を学びます。

患者さんを感情のある人間として理解したうえで、その病態、病状検査所見、診断、治療の基本を身につけます。これは次のコースで、実際の患者さんに接する「臨床実習」においてとても大事なステップになります。

臨床医学コースでは、医学研究の入門となる医学研究演習を1カ月

行います。ここでは、学生が研究室に配属され、実験の方法や考え方を学ぶことで、将来の基礎医学研究者や研究医となるための素養を磨きます。

このコースの最後には、コンピューターによる知識や理解度を測るCBT、さらに医療面接（病歴聴取）や診察などの技能を測る実技試験「臨床実習前OSCE（Pre-CC OSCE）」の二つの全国共通の共用試験があり、これに合格して臨床実習に進むことになります。

## EVENT



### ↑ 日頃の勉強の成果を発揮「医学展」

毎年、北大祭の期間中に行われる医学展では、4年生などが企画部門長となって救急対応などの指導や「妊娠さん体験・車いす体験」などを一般市民向けに行ってています。



統合・膠原病・アレルギー学の講義（3年次開講）

## 医学科生からのメッセージ

### 臨床の扉をひらく

3年後期から4年前期の臨床医学コースでは、診断や維持、治療といった観点から病気について学びます。このコースで、各診療科の講義が1-2週間かけて行われ、医師になるための知識の土台をつくりあげていきます。学習を進めるうちに、人体の構造や機能、病態や薬の作用機序などの、基礎医学コースで学んだことが礎石となっていることをより実感しました。臨床医学コースでは、先生方から臨床医学の基本だけでなく、臨床現場での応用、最新の医学的知見を踏まえた講義を受けることができ、実習に向けて必要な知識や考え方を身につけることができます。

3年生の冬には医学研究演習があり、医学部の基礎系研究室の活動に参加し、基礎医学により近くで触れることができました。

また、4年生の夏にはCBT（Computer Based Testing）・OSCE（Objective Structured Clinical Examination）という試験があります。CBTはコンピューターを使って受験する共用試験で、OSCEは身体診察や採血、医療面接などを行う実技試験です。

これらを乗り越えると、いよいよstudent doctorとして臨床実習が始まります。

京野 里虹さん〔5年生〕  
北海道札幌西高等学校（北海道）卒業



# 臨床実習コース

| 社会医学系科目 | 基本臨床実習科目 | 臨床科目 |  
| 実習科目 |

これまで学んできたことを  
具体的かつ実践的に身につけます



## コースの特色

このコースでは、臨床実習が開始されます。4年次の2学期からは北大病院で診療科を回り、病院という臨床の現場で患者さんと医療スタッフに接しながら、これまで各コースで学んできたことを具体的かつ実践的に身につけていきます。この実習と並行して、実習で認識した課題や疑問点について、臨床統合講義で振り返り、総合的な診療能力の基本を幅広く学びます。社会医学の実習も、この時期に行います。

続く5年次2学期の6ヶ月間は、大学病院や学外の医療機関で4週間にわたる長期の診療参加型コア科臨床実習を6回行います。

6年次1学期には、一つの診療科や教室あたり4週間にわたる長期の診療参加型選択科臨床実習を3回行います。

臨床実習コースの仕上げとして、臨床病理学の講義や多職種連携・

シミュレーション実習も行います。これらにより、卒業後に役立つ実践的能力も身につけることができます。

このコースの終盤には、卒業試験の一環として全国共通共用試験「臨床実習後 OSCE(Post-CC OSCE)」が行われ、臨床技能・態度が評価されます。その後実施される医師国家試験に合格して晴れて医師になります。

医学科の専門教育では、すべてが必須科目となっています。これも他学部と大きく異なるところです。これは患者の生命をあずかる医師に対する社会的要請によるものです。したがって、学部教育中にはすべての科目を学び、医師としての基本を身につけることになります。濃密な履修には、このような理由があります。

## EVENT



▲6年間の学修を経て、いざ学士学位記伝達式

6年間の学修を経て、充実感いっぱいを迎える卒業式です。ここから医療機関や大学、研究機関等へと羽ばたいていくことになります。



▲全科臨床実習：脳神経内科 電気生理学実習の様子  
このように、各診療科に応じた専門性の高い実習も行われます。

## 医学科生からのメッセージ

### 患者さんと臨床実習

4年次後期から大学病院で臨床実習が始まり、全28診療科を各科1週間ずつ回ります。試験勉強が中心のそれまでの学生生活とは大きく異なり、実際に白衣を着て外来や病棟で患者さんと関わることになります。そこでは、実習に協力して下さった患者さんを通して疾患の理解だけでなく、診察の仕方やカルテの記載、診断や治療方針、症例発表といった医師になる上で必要とされる一連の基礎を学びます。また、実習を通じて様々な知識を学んでいく中で、将来どの分野の診療科を専門にするか具体的に考えることも多くなります。

私の場合、幾つかの外科系の診療科で手術の助手として参加させて頂く機会があり、これまで漠然と考えていた卒業後の進路を深く考るきっかけになりました。僅かではありますが、学生という身分でありながらも患者さんの治療に直接関わった経験は、自分の中で大切な記憶の一つになっています。また、救急科では搬送された重症患者さんの亡くなる瞬間に立ち会う事もあり、この時の経験は2年次にある解剖学実習と並んで私の人生観を大きく変えるものとなりました。

いま真剣に医師になりたいと考えている方も、いずれ臨床実習をした際にはかけがえのない経験をする事になると思います。受験勉強、応援しています！

戸田 照久さん [5年生]  
埼玉県立越ヶ谷高等学校(埼玉県)卒業





# 海外実習

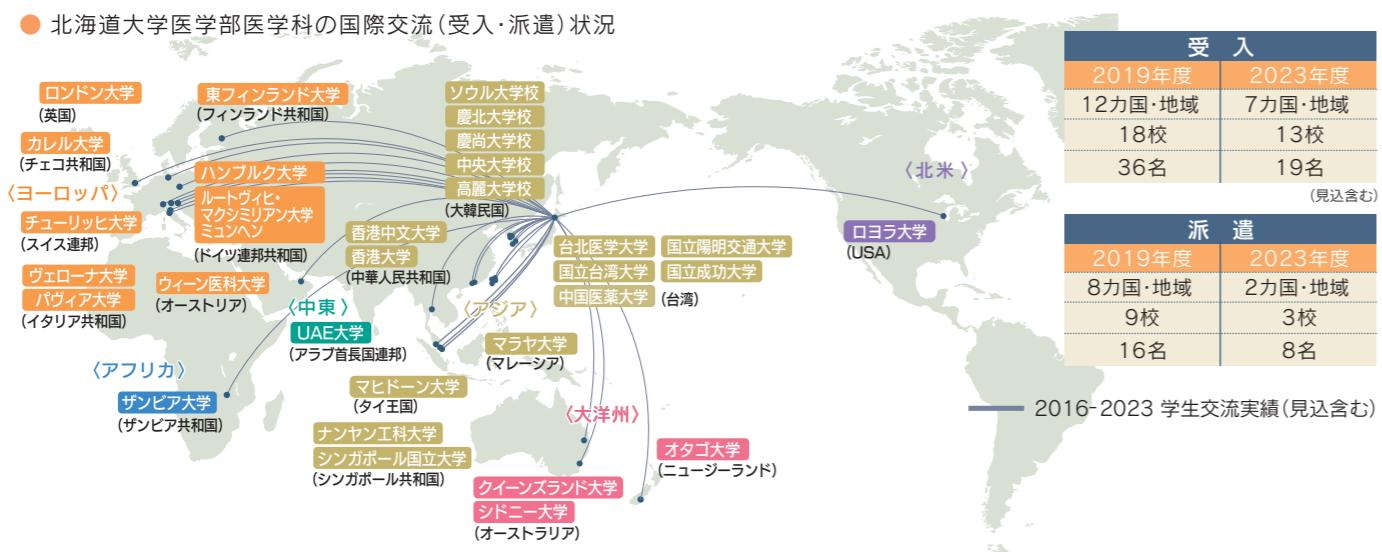
「Withコロナ時代」にグローバルな舞台に挑戦し活躍できる人材の育成

本学医学部では、国際的なプレゼンスを高めることを目指して、若い世代の内向き志向を克服し、グローバルな舞台に積極的に挑戦し活躍できる人材の育成に取り組んでいます。海外の大学および研究機関とのパートナーシップを基盤に最先端の技術と知識を共有し、時代のニーズにあった質の高い教育を提供できるよう、さまざまな活動を行っています。

その活動の柱として、医学生の短期海外臨床実習が挙げられます。所定の成績要件を充足し選抜された学生には、6年次の臨床実習の一部を海外での実習に充てる機会が与えられます。本学医学部基金から奨学金として旅費・滞在費の一部を支給して支援しています。コロナ禍直前の2019年度は、海外での臨床実習を希望した16名の学生をシンガポール国立大学、ハーバード大学、ミンネソタ大学、ウェーラー大学、UAE大学など世界5カ国の大学病院へ派遣し、世界12カ国・18大学から医学生を受け入れ、臨床実習が行われました（下図参照）。

コロナ禍の影響で2020年度以降、海外協定校との留学生の派遣・受入の一時休止を余儀なくされました。この休止期間を活用して、コロナ禍でも国際交流活動を安全かつ確実に実施できるよう、派遣・受入プログラムの見直しや危機管理体制の整備をすすめ、2023年度から本学6年次学生の海外への派遣と、海外協定校からの留学生の臨床実習受け入れを段階的に再開致しました（下図参照）。今後、社会的情勢を見極めながら、世界規模で国際交流活動を推進してゆく予定です。

## ● 北海道大学医学部の国際交流（受入・派遣）状況



## 私が海外実習を通して得たもの



私は将来、基礎研究を続けて世界に羽ばたく研究医になることを目指しています。まだ原因がわかつていない病気や治療法のない疾患に対して、医師の視点を持った上で基礎研究から解決方法を探していくことを日々努力を重ねています。その医師の視点の1つとして海外での医療体制や日本と頻度の異なる疾患、また抱えている問題などを学びたいと考え、ニュージーランドとUAEの2カ国へ短期留学を経験しました。

もちろん専門的なことも学びましたが、自分の中で一番大きかった学びは、「違いにばかり目を向げず、共通点を考えること」です。種々の衝突は価値観の違いであることがほとんどです。よく言われるのは違う価値観を受け入れるということですが、それは自分の価値尺度を押さえ込むということですし、まだ自分と相手は違うという意識があると思います。それより、互いが共通して持っている目的や考えに目を向けることで良い関係性を築くことができる学びました。

北海道大学は新渡戸カレッジや協定校との交換留学など、海外での経験を積める機会が多く用意されており、医学部の先生方も幅広い支援をしてくださります。この環境は将来医師として国際的に活躍しようと考えている受験生の方々にとって素晴らしいものだと思います。皆様にお会いできるのを楽しみにしています。

大学院医学博士課程3年  
免疫学教室

春日 優介さん



## キャンパスガイド

### 1 管理棟

2010年6月に改修された医学部の正面玄関。噴水のあるロータリーが目印です。各事務部、会議室、医学部長室などがあります。この建物の奥にある医学部学友会館「フラテ」への共通の入り口にもなっています。



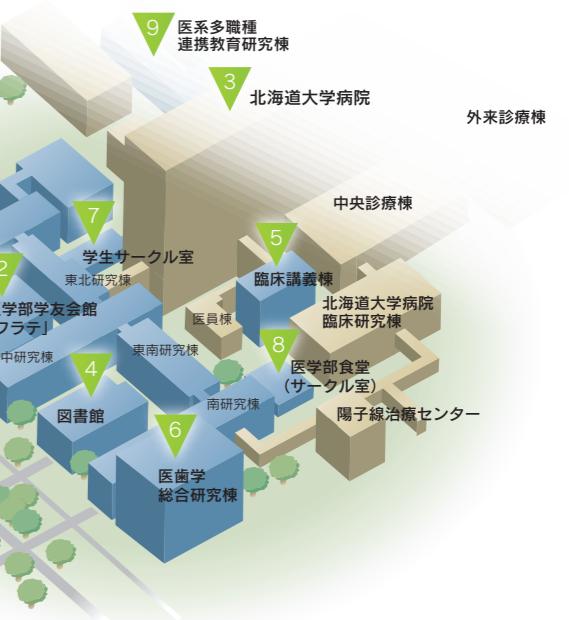
### 2 医学部学友会館「フラテ」

医学部創立90周年記念事業により建設され、2010年7月に竣工しました。ホール、特別会議室、大研修室があります。



### 3 北海道大学病院

研究棟に隣接する北海道大学病院。4年次2学期からは病院での臨床実習が主な授業になります。世界最先端の陽子線治療センターもあります。



### 4 医学研究院・医学院・医学部図書館

医学系の専門書を中心に、雑誌を含めておよそ15万冊の蔵書があります。図書と雑誌（各5冊以内）を8日間借りることができます。2階には自習室・パソコン室が、3階には授業が行われる講義室があります。

【開館時間】平日 9:00~22:00  
※長期休業期間中は9:00~17:00



### 5 臨床講義棟

1階部分は第3講堂と第4講堂、2階部分が臨床大講堂です。臨床系の講義のほか、講演会等の学術活動にも使用されています。



### 6 医歯学総合研究棟

医学および歯学の2部局により共同で運営される施設です。学部教育と大学院教育が行われており、共用の実験機器類が設置され、各分野の研究者に活用されています。



### 7 学生サークル室

東北棟の横、学生の課外活動のために設置されたサークル共用施設です。利用したいサークルが時間指定で借りて活動を行っています。年末年始や清掃など臨時休館日を除き全年開館しています。



### 8 医学部食堂（サークル室）

2006年4月に完成したカフェテリア形態の食堂。主に医学部生および関係者が利用しています。メニュー数約70品、席数120席前後。売店も併設されていて、文具・食品から白衣・実習着なども購入できます。また、この建物の一部がサークル室として使用されています。

【営業時間】平日11:00~14:00 (購買部11:00~14:00)  
※土日祝は休み



### 9 医系多職種連携教育研究棟

学生と病院職員が共に学ぶ「多職種連携教育」の推進を目的として、2016年4月に開設されました。シミュレーション教育を行う「クリニカルシミュレーションセンター」、学部生が実習、カンファレンスや自己利用するスペースなどがあります。



### 10 医学部百年記念館

医学部創立100周年を記念し2019年に竣工。医学部の歴史資料を展示・保管するほか、講演会、学会、同窓会行事など多目的に利用できます。



## 医学科イベントカレンダー

2023

※COVID-19の感染状況によって  
予定が変更になる場合があります。

●入学式

● 医学展  
北海道大学祭期間中、学生主催で講演会・講習会や展示、検査体験や応急処置体験などをを行い、医学生の日頃の学修成果を、市民の方々に見ていただく機会でもあります。



月

4

6

8

9

10

2

● 学士学位記伝達式（卒業式）



● 懇話会



● 北大祭



● オープンキャンパス

一般市民・高校生を対象として毎年8月に行われています。北海道大学に実際に来て・見て・体験してもらうために、各学部でさまざまなプログラムが用意されています。自由参加プログラムのほか、高校生限定プログラム（体験講義）があります。



● 懇話会

順調で有意義な学業生活に資することを目的に、学生と教員が親しく懇談する場を設けています。1年次、2年次、4年次に開催。

## クラブ・サークル活動

日々の勉学に忙しい医学部ですが、医学部内には公認サークル（公認学生団体）があり、それぞれのびのびと活動しています。気のかけない仲間とのコミュニケーション、そして学年を超えたつながりは、より充実したキャンパスライフを実感させてくれるでしょう。

## Sports

- 硬式庭球部
- ソフトテニス部
- 準硬式野球部

- 卓球部
- バスケットボール部
- サッカー部

- 羽球部
- フラテ山の会
- アイスホッケー部

- 学友会スキー部
- 剣道部
- 漕艇部

- 水泳部
- ハンドボール部
- バレーボール部
- ゴルフ部
- 弓道部
- 医歯薬陸上部

(2023年度の例 休部を除く)



硬式庭球部



卓球部



羽球部



学友会スキー部



水泳部



ゴルフ部



フラテ編集部



起業部



ソフトテニス部



バスケットボール部



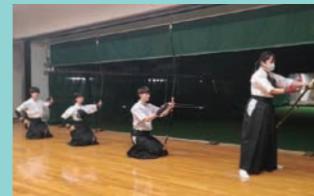
フラテ山の会



剣道部



ハンドボール部



弓道部



東洋医学研究会



アンサンブル・フラテ



準硬式野球部



サッカー部



アイスホッケー部



漕艇部



バレーボール部



IFMSA (国際医学生連盟)



軽音楽部

医学科卒業後の進路は大きく分けて三つあります。卒業までに進路を選択し、進路に応じた学習が始まります。卒後10年間は基本的学習が続き、その領域をリードしていくための学習は一生涯続きます。

## 1 臨床医・専門医へ

卒業生の多くが目指すのはやはり臨床医や専門医です。一般的には大学病院などの指導体制が整った病院で研修、診療、研究を行い、高度な専門的技能や能力を磨いていきます。専門医の資格を取得し、さらに大学院に進学してすぐれた臨床研究を行ない「医学博士」となることが望まれます。

## 2 医学研究者・教育研究指導者へ

先進各国における生命科学研究の主要な担い手は、医学研究院・医学部医学科の研究者です。医学科卒業後は大学院に進学し、専門的技術や能力の基盤を築きます。研究者・教育研究指導者にとって「医学博士」となるのはその最初の通過点です。医学科在学時から大学院博士課程の科目を履修できるMD-PhDコース(解説p.19)の選択を推奨しています。

## 3 専門職へ

公衆衛生、国際保健、医療行政などで活躍する専門職です。エイズや人獣共通感染症など、国境を越えて広がる新たな疾患に対しての疫学調査や予防への取り組み、また医療保険制度など医学医療制度を研究し、施策を提言します。2と同様に、卒業後は大学院へ進学し「医学博士」となることがその第一歩であり、MD-PhDコースの選択を推奨しています。

## 履修モデル



※1 初期臨床研修を修了していなければ診療に従事することはできません(医師法第16条)。

※2 新専門医制度(2018年4月開始)による専門研修専攻例。研修の期間・内容は、基本領域(内科や外科など19領域)ごとに定められた専門研修プログラムにより異なります。

専門医になるためには専門研修を修了する必要があります。

★専門研修最終年に博士課程の履修を開始する例

## 教員からのメッセージ

### 人間性豊かな医師、医学研究者を目指しましょう!!

北海道大学は190万都市 札幌の中心部に広大でかつ自然豊かなキャンパスを有し、医学部医学科も含め多くの学部や大学院、研究施設がこのキャンパス内に配置されています。北大医学部医学科は2019年に創立100周年を迎えた歴史と伝統あるわが国屈指の医学部であり、つぎの100年に向けて休むこと無く歩み続けています。

2023年現在、核酸医療、再生医療、抗体医療、遺伝子治療、ゲノム医療、AI医療など新しい医療の開発の流れが加速しています。今まででは難病といわれてきた疾患にも新しい治療法の開発が進み、一昔前とは隔世の感があります。私たちもその開発の中心的役割を担っていると自負するところです。

しかしどんなに時代が変わって、新しい技術が出現したとしても、それを扱うのは“人”であることを忘れてはいけないと思っています。私たち北大医学部医学科の理念は「世界をリードする先進的医学研究を推進し、高い倫理観と豊かな人間性を有する医学研究者・医療人を育てることにより、人類の健康と福祉に貢献する」です。医学生のうちに、医学のみならず、文化や歴史、社会学など幅広い領域を積極的に学んでいただきたいと思います。また、北海道大学では部活動も活発な活動をしています。6年間の様々な学びや経験をとおして、人格と教養を磨き、高い倫理感をもち人間性豊かなよき社会人に、そして、よき医療人になっていただきたいと思っています。実際にみなさんの先輩達、医学部医学科の卒業生は北海道のみならず、日本全国、世界で活躍し、人類の健康と福祉に貢献しています。

私たちは、みなさんの将来が輝かしいものとなるように全力で支援していきたいと思っています。みなさんの入学を心からお待ちしています。



矢部 一郎先生

医学部医学科教務委員会委員長  
(神経内科学教室)

## 臨床研修医からのメッセージ



豊島 魁さん  
北海道大学病院  
初期臨床研修医

## 北海道大学医学部の6年間

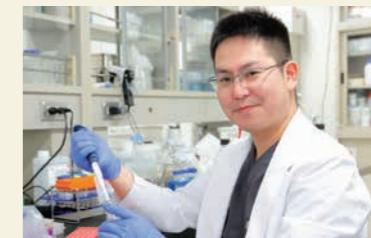
こんにちは。私は北海道大学医学部を卒業後、現在初期研修医2年目として北海道大学病院で研修をし、とても充実した毎日を過ごしています。

北海道大学は札幌の中心部にありながら自然に囲まれた広大なキャンパスが特徴です。総合大学のため、様々な学部の学生と北大祭やサークル活動で交流する機会があります。6年間の学生生活は、1年生は総合教育部として他学部の学生と同じクラスに配属されます。教養の授業だけでなく、様々な行事もクラス単位で行われるので、他学部の友人がたくさんできます。2年生からは解剖実習や組織学、病理学といった基礎医学の授業が始まります。4年生からは臨床実習として各科のローテートが始まり、実際の患者さんに問診や診察をさせていただくことや、カンファレンスでの発表など様々な経験を積むことができます。また5年生からは市中病院での研修も経験することができます。卒業後の進路は私のように北海道大学病院で研修を行うものもいれば、道外の病院で研修を行うことなど自分に合った研修を選択することができます。あなたもぜひ北海道大学で充実した大学生活を送ってみてはどうでしょうか?

そして自己免疫性小脳失調症に関連する自己抗体の測定系の確立や、新規自己抗体の発見に向けた実験に励んでいます。これらの基礎研究を通じて測定系の問題点など、今まで気が付かなかった事にも目が向くようになり、この視点は臨床の場でも役に立っています。

今の目標は、一つでも多くの新しい知見を世界に発信することです。そのための熱意のある指導を教官の先生方から受けていると感じます。例えるなら「宝探し」のような日々ですが、実験に成功し、少し前進するたびに喜びがあります。大学院での生活は時間と情熱を注ぐだけの価値があるものです。ともに学べる仲間が一人でも増えると嬉しいです。

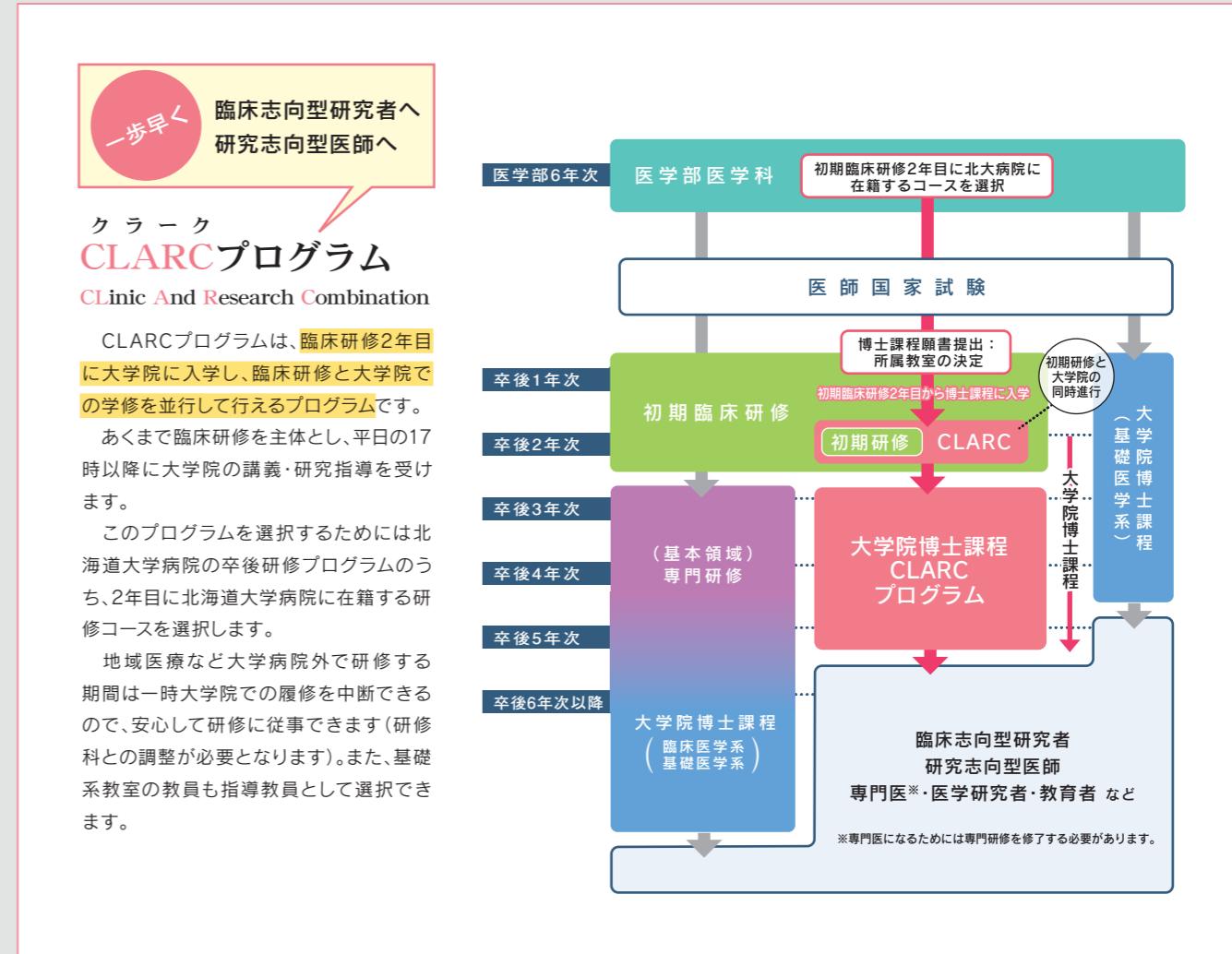
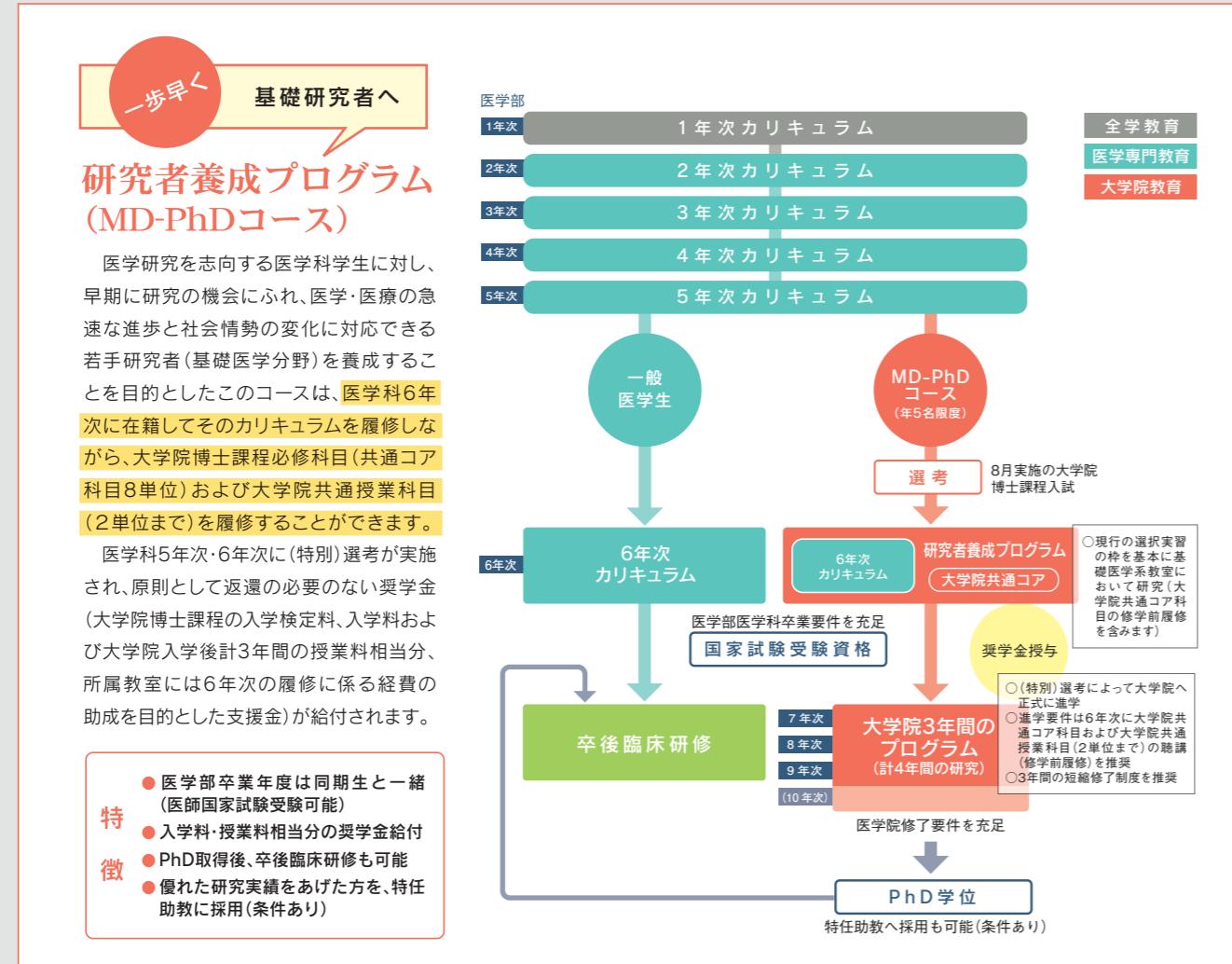
## 大学院生からのメッセージ



工藤 彰彦さん  
大学院医学院博士課程3年  
神経内科学教室

**大学院特別プログラム** 医学研究者、研究志向型医師を目指す方へ

医学部医学科在学時に選択できる大学院の二つのプログラムを紹介します。



## Medical Doctor “&” Doctor of Philosophy

私は細胞生理学教室(大場雄介教授)に所属し、令和2年3月に北大医学院のMD-PhDコースを修了しました。同年4月からは同教室の教員として、研究と教育に従事しています。

私は小さい頃から科学一般に興味があり、将来は大学院に進学するつもりで、総合理系の枠で北大に入学しました。このため私にとってMD-PhDコースは理想的な制度であり、医学科に進学を決めるきっかけとなりました。

私が所属している教室では、生命の基本単位である『細胞』を対象として、その動作原理を構成的に解き明かすことをテーマとしています。私は現在、物質の取り込みや細胞内輸送といった細胞機能に対し、種々のイオンが与える影響を調べています。私は、MD-PhDコースを経て基礎研究に進むことの強みは「一連の医学教育を受けられること」だと思っています。個々の臓器や人体がいかにして動作するのかを学べることはもちろん、臨床実習で得られる貴重な経験は、研究を続けていく上で強いモチベーションとなるでしょう。



北海道大学大学院医学研究院  
細胞生理学教室  
助教

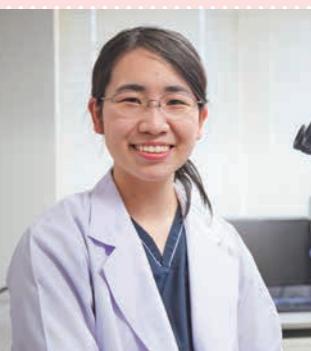
柏木 彩花 さん

## CLARCプログラムの研修

学部生のときから病理学に強い関心があった私には、高い専門性を身につけながら博士の学位も早く取得できるCLARCプログラムはとても魅力的でした。1年目に製鉄記念室蘭病院、2年目に北大病院を中心に行なった初期研修では多くの症例を経験し、各診療科と病理診断科とのつながりにも触ることができました。2年目からは大学院1年生も兼ねましたが、腫瘍病理学教室の田中教授をはじめ各研修生の指導医・スタッフの方々のご理解ご協力により無事修了することができました。

現在は実験手技を習得し研究を進めるとともに、病理専攻医として病理診断を学んでいます。臨床各科での体験は、依頼書から臨床経過を把握したり、病理解剖の中で死因や病態を考えたりする際の助けになっています。基礎研究の考え方を訓練することもまた、疾患を臨床・研究の両面から考えるという点で重要であり、より良い病理医を目指して一直にかけがえのない経験にならえていきます。

早くから基礎研究に触れ医学に対する理解を深めることは、病理に限らずどの分野でも大きなアドバンテージとなるでしょう。CLARCプログラムに興味のある方は、まずは所属する予定の科へ相談してみてください。



北海道大学大学院医学院  
博士課程4年  
腫瘍病理学教室

加藤 万里絵さん



# 北海道大学 医学部医学科

〒060-8638 北海道札幌市北区北15条西7丁目

TEL. 011-716-2111 (北海道大学代表)

FAX. 011-717-5286

URL <https://www.med.hokudai.ac.jp/sch-med/>



北大医学部

検索

## Access



### 交通のご案内

JR線)札幌駅下車 徒歩約20分

〈地下鉄南北線〉

北12条駅下車 徒歩約10分

北18条駅下車 徒歩約10分

〈地下鉄東豊線〉

北13条東駅下車 徒歩約15分

〈中央バス 屯田線01、03、04〉

札幌駅北口バスのりばから乗車

北大病院前下車 徒歩約3分

● 新千歳空港～札幌駅

〈JR〉 約40分 〈バス〉 約80分

### 敷地内のご案内

北13条門からイチョウ並木通り、  
T字路を右折。噴水のあるロータリー  
が目印です。管理棟に受付があります  
のでお問い合わせください。